

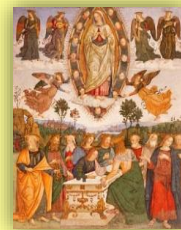
# 2021年8月教会便り 美唄～砂川

主任司祭 ナルチゾ神父

7月になってから毎日猛烈な暑さに襲われています。

その上コロナウイルスがまだまだ当分の間、私達に不自由をかけるでしょう。

お盆は、8月15日を中心に8月13日～16日の期間に行われます。元々は7月15日を中心に行われていましたが、明治時代に暦の国際基準化を目的に行われた改暦に伴い日本の行事は全体的に30日遅れとなりました。そのため、現代では8月15日を中心に行われています。



8月15日は聖母の被昇天を祝います。聖母の被昇天の祝日は、1950年に「無原罪の聖母が地上の生涯の終わりにからだも魂もろとも天にあげられた」と教皇ピオ12世によって定義された日本と聖母の祝日の不思議な関係。ここで、日本と聖母マリアの記念日との不思議な関係についても触れておきましょう。1549年に日本にキリスト教を伝えたフランシスコ・ザビエルが、初めて鹿児島に上陸したのは8月15日でした。そこでザビエルは、日本を聖母マリアに捧げて、その保護を祈ったと伝えられています。そのせいかどうかは分かりませんが、日本の歴史的な出来事と聖母マリアの祝日は、実によく重なっているのです。真珠湾攻撃によって太平洋戦争が始まったのが、1941年12月8日、この日はカトリックの国では盛大に祝われる



「無原罪の聖マリアの祝日」です。太平洋戦争が終わったのは、1945年8月15日、この日は「聖母マリアの被昇天」です。その後、サンフランシスコ講和条約が調印されたのが1951年9月8日、この日は、聖マリアの誕生日に当たります。さらに日本の建国記念日の2月11日は、「ルルドの聖母の祝日」となっています。

## 8月の主な典礼・ミサ時刻

日	曜	典礼暦	砂川	美唄
1	日	年間第18主日 P4 平和を願う 当教会出身聖職者・修道者のために祈る日 新型コロナウイルス感染症世界の為の祈り	9:00ミサ 先読: 多田 第1: 安藤 第2: 間野 典礼聖歌: 千田/古野 オルガン: 野呂	11:00
8	日	年間第19主日 司祭と召出を求めのために祈る日 新型コロナウイルス感染症世界の為の祈り	9:00ミサ 先読: 高塚 第1: 古野 第2: 室井 典礼聖歌: 野呂/安藤 オルガン: 多田	11:00
15	日	聖母の被昇天 病者と洗礼志願者のために祈る日 新型コロナウイルス感染症世界の為の祈り	9:00ミサ 先読: 多田 第1: 岡本 第2: 千田 典礼聖歌: 間野/古野 オルガン: 野呂	11:00
22	日	年間第21主日 病者と洗礼志願者のために祈る日 新型コロナウイルス感染症世界の為の祈り	9:00ミサ 先読: 野呂 第1: 西川薫 第3: 本田 典礼聖歌: 高塚/多田 オルガン: 多田	11:00
29	日	年間第22主日 教会から離れた信者のために祈る日 新型コロナウイルス感染症世界の為の祈り	9:00ミサ 先読: 高塚 第1: 三上朋 第2: 安藤 典礼聖歌: 三上夫妻 オルガン: 野呂	11:00

◆平日のミサ ○砂川教会: 月曜日～金曜日 6:30、土曜日10:00 ○美唄教会: 金曜日10:30

## ◆今月の霊名記念日の方…おめでとうございます(敬称略)

○砂川教会		○美唄教会	
10日	聖ラウレンチオ助祭殉教者 三上省吾、古野倫太郎	11日	聖クララおとめ 米通 心、船野由美
11日	聖クララおとめ 齊藤美代子、大西樹梨、多田聖華	15日	聖母の被昇天(マリア) 加賀綾子、建部絢子
14日	聖マキシミアノ・マリア・コルベ司祭殉教者 本田啓輔	21日	聖ピオ10世 菅野牧雄
15日	聖母の被昇天(マリア) 千田アヤ子、千田裕子、多田明美 舛甚峰子、平間美智子、西川ヨシ子	23日	マリアローザ 山本育子
15日	聖母の被昇天(マリア・アスンタ) 鎌塚静子	27日	モニカ 坂本礼子、米通里奈、三間信子
25日	聖マリア ミカエラおとめ 野呂幸子	25日	マリアローザ 山本育子
		28日	アウグスチーノ 菅野 仁

花当番	
7日(土)	千田
14日(土)	野呂
21日(土)	多比良
28日(土)	安藤

## ◆砂川教会 お知らせ

- ・ロザリオ会はお休みです
- ・7日(土) 10:00のミサ後、墓地に移動して共同墓地の祝別を予定。
- ・15日(日) ミサ後墓地で共同祈願を予定。(雨天中止)
- ・22日 古野倫太郎くんの初聖体を予定。
- ・毎週水曜日 10:00～ 聖書に親しむ会を実施しています。

# 元気の源は教会からいただいたパワーとマラソン！

西川 薫

朝6時、シーンと静まった聖堂に教会の鐘の音が響き、ナルチゾ神父様の「主のみ使いのお告げを受けて」の先唱に続き、参加者は「マリアは聖霊によって神の御子をやどされた」と続唱し、朝のお祈りが始まります。引き続きミサが執り行われ 神父様の説教を聞き ご聖体を頂き 清々しい気持ちで私の一日が始まります。

このあと、週4回仕事に出かけます。9月には満83歳になります。まだまだ元気です。

元気の源は教会からいただいたパワーと60歳から始めたマラソンのお陰です。

60歳定年後、第2の人生の職場でランニング仲間に出会い、最初は1キロを走るのが精一杯でしたが走り続ける事により距離が段々と延び、5-10-20キロと走れる様になり 苦しさの中でも走る楽しさを知りました。いつの間にか フルマラソン(42.195キロ)を走りたく、さらに走る時間を増やし挑戦したところ、苦しみながらも完走でき、走れた達成感・満足感に満たされ途中の苦しみは スッキリ忘れてしまうほどでした。これが病みつきとなり75歳までに26回も完走でき

ました。大会の制限時間は5時間なのですが 私には何とか走れる時間で真夏の北海道マラソンにも3回参加し 札幌の街の中を大勢の観客や応援の前で走れたことは 人生の喜びの一つになりました。妻には、いつでもどの大会にも付き添ってくれ、身のまわりの世話や応援で力を貸してくれた事に感謝しております。75歳を過ぎた頃から体力の衰えを少しずつ感じはじめ無理は出来ないと悟り軽めの運動に切り換え 今に至っています。

最近、家のまわりの草刈りや芝生作り 花いじりに精出しております。

家の中に居るより外に出ているほうが好きな性分です。

人生100年時代と言われていますが、そこ迄は望みませんが、ボケなく自立した生活を送れる事を願っている日々であります。

